

6月 おもなよてい *変更があることもあります

7	水	17:00	西中学校地区学習会	8	木	10:00 17:00	やまびこサロン（西鴨） 小鴨小学校地区学習会
9	金	19:30	やまびこ人権文化センター 運営委員会	15	木	10:00 17:00	やまびこサロン(天神野) 小鴨小学校地区学習会
20	火	9:00	手話教室 ♪どなたでもご参加できます。 お待ちしております	21	水	19:30	中河原二女性部 作品作り (スワッグ作り) ★二十四節季 「夏至」
22	木	10:00 17:00	やまびこサロン(中河原二) 小鴨小学校地区学習会	23	金	19:30	小鴨地区同和教育町内学習会 事前学習会

倉吉市人権教育研究会 会員募集します

～人権が尊重されるまちづくりのために、一緒に活動しましょう～

倉吉市人権教育研究会は、差別の現実学びながら「部落差別をはじめあらゆる差別の解消」をめざして研究をすすめ、一人ひとりが「人権・尊重のまちづくり」への理解を深め、自分にできることを大切にしながら活動しています。本年度も会員募集を行います。この会の趣旨に賛同される方であれば、どなたでも加入できます。ぜひ、あなたのご加入をお待ちしています。



会費：1人年額 1,000円（お申し込み方法 会費を添えて下記へお申し込みください）
 随時受け付けています
 お申し込み先：倉吉市人権教育研究会事務局（人権政策課内）
 倉吉市堺町2丁目253-1 市役所第2庁舎3階 TEL 22-8130/FAX 23-9100
 *やまびこ人権文化センターでも受け付けできます。

困りごとや人権侵害 ひとりで悩まないで 人権文化センターは身近な相談窓口です

子どもから高齢者までの様々な人権問題や生活の困りごとについての相談に応じています。

市の窓口や関係機関の紹介など随時対応していますので、お気軽にご相談ください。

差別落書き・差別発言などに遭遇されましたら、倉吉市人権政策課（22-8130）または、やまびこ人権文化センター（28-4265）にご連絡ください。

やまびこ人権文化センターだより

発行日 2023年6月1日



人ある限り人権を



発行 やまびこ人権文化センター

住所 倉吉市中河原 772-6 電話・FAX 0858-28-4265

E-mail yamabiko@ncn-k.net



6月は
「倉吉市男女共同参画推進月間です」

男女共同参画社会は、すべての人がお互いにその人権を尊重し、性別にかかわらず個性と能力を発揮し、男女が共に自らの行動に責任を持ち、支え合いながら心豊かに暮らすことができる社会です。

本市では、「男女共同参画のまちくらし」を目指して、行政、市民、事業者の皆様と共に男女共同参画の取り組みを進めており、毎年6月を「男女共同参画推進月間」としています。

私たちのまわりの男女のパートナーシップについて考えてみましょう。

倉吉スマイルプロジェクト特別記念講演が開催されます

倉吉スマイルプロジェクトの機運を高めるため、倉吉市男女共同参画推進月間において、元尼崎市長で、現在は上場企業社外取締役等を務められている白井 文(しらい あや)さんを講師に招き、特別講演会を開催します。

- 日時：令和5年6月18日(日) 14:00から15:30(開場13:30)
- 開場：倉吉未来中心 小ホール(倉吉市駄経寺町212-5)
- 講師：白井 文(しらい あや)さん 元尼崎市長
- その他：託児あり
- *託児の必要な方は6月7日(水)までにお申し込みください
- 問い合わせ・申し込み 市人権政策課 22-8130まで

入場無料・要申込



倉吉スマイルプロジェクトを募集します

倉吉市では、女性の活躍を推進する事業を行う団体を募集し、最大30万円の補助金を交付します。

補助金の額：原則、補助対象経費に7分の6を乗じて得た額以内の額
 補助金の限度額：30万円

提出先：人権政策課

〒682-8633 倉吉市堺町2丁目253-1

提出方法：郵送又は持参、電子メールも可能

TEL 0858-22-8130 / FAX 0858-23-9100

電子メール danjo@city.kurayoshi.lg.jp

提出期限：令和5年7月11日(火曜日)17時まで

*書類審査の上、補助金交付候補者を決定します。

啓発パネル展開催しています

○パープルタウン催事場
 6月1日(木)～6月7日(水)

○倉吉交流プラザ 1階
 6月8日(木)～6月30日(金)



あなたは、どう考える？感じる？

倉吉市人権・同和問題に関する意識調査の結果

★自分の人権について

Q: 職場や学校、地域など身近なところで、あなたの人権は十分に保障されていると思いますか。

選択項目	市全体	小鴨地区
1 そう思う	41.7%	39.7%
2 どちらかというと思う	41.5%	46.2%
3 あまり保障されていない	6.4%	7.7%
4 まったく保障されていない	1.8%	2.6%
5 わからない	6.9%	3.8%



人権は十分に保障されていると思うかどうかについて、「1 そう思う」、「2 どちらかというと思う」は合わせて 83.2%と 8 割を超える人が人権は保障されていると考えている。また、「3 あまり保障されていない」、「4 まったく保障されていない」は合わせて 8.2%であった。

前回（平成 24 年度の数値では、「人権が保障されている」と感じる割合は 75.4%、「人権が保障されていない」と感じる割合は 13.4%であった。前回の調査と比較すると、自分の人権が保障されていると感じる人が増加している。（調査報告書概要版より抜粋）

★差別と人権侵害について

Q: 日常生活の中で、あなた自身が差別や人権侵害を受けたことがありますか。

選択項目	市全体	小鴨地区
1 たびたびある	2.4%	2.6%
2 たまにある	12.5%	12.8%
3 ほとんどない	47.3%	46.2%
4 まったくない	28.9%	30.8%
5 わからない	7.2%	6.4%
6 無回答	1.7%	1.3%

差別や人権侵害を受けたことが「3 ほとんどない」（47.3%）が最も高く、次いで「4 まったくない」（28.9%）となっている。差別や人権侵害を受けたことがある人は、「2 たまにある」（12.5%）、次いで「1 たびたびある」（2.4%）となっている。（調査報告書概要版より抜粋）

家庭や地域、職場の日常生活の中で相手の立場になって考えることや人権に対する気づきが人権文化を創造する第 1 歩です。あらためて人権の視点で日常生活を見ませんか。



次回号は

「身元調査(結婚)について」「因習と迷信について」の意識調査結果を掲載します。

～やまびこ図書～



ねずみくんのきもち

作・なかえよしを 絵・上野紀子



「わあ こんなに みんな
おなじ大ききだったら こまるなあ」

「そうだろう おたがいに
ちがうものをもっているから
いいんだよ
ちがうことは
すばらしいことなんだ」

*本より転記

「思いやりってなに？」この本を読んで一番はじめに感じたことでした。ねこくに意地悪をされる、ねずみくん…「ぼくって、だめだなあ」と自分を責めている時にふくろうさんが教えてくれたこと…

〈誰かを思いやるという大切なこと〉
〈みんな見えないところで助け合っていること〉
〈みんなちがうことは素晴らしいこと〉…
生きていく中での人と人が繋がりをもつために大切なことが描かれている一冊です。

「自分って皆からどう見えているのか？」
不安な気持ちは誰にでもあります。

でも、ふくろうさんがねずみくんに教えてくれた
「みんながちがうからいいんだよ」
個性が輝くそんな世界になればいいなと思いました。



ハンセン病への差別や偏見をなくそう

6月22日は「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」

平成 21 年度から、「ハンセン病療養所入所者等に対する補償金の支給等に関する法律」の施行日である 6 月 22 日が「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」と定められました。ハンセン病に対する正しい知識と理解は、いまだ十分とはいえない状況にあります。ハンセン病にかかった患者・元患者やその家族が、周囲の人々の誤った知識や偏見等によって、日常生活、職場、医療現場等で差別やプライバシー侵害等を受ける問題が起きています。患者・元患者やその家族が偏見や差別で苦しむことがないように、ハンセン病に対する正しい知識と理解が必要です。（法務省 HP より抜粋）



長い人は 70 年以上も隔離をされ、治っても外の世界には出られない。差別をされずに生きていくことは難しい事なの？ 悲しみや辛さばかりじゃなく「希望」「喜び」も感じられる一冊の本です。